

●主な活動の記録 (4月～6月)

4月13日(土) 「緑の募金」街頭募金 近鉄奈良駅前

県緑推による恒例の街頭募金活動に、いこま里山クラブと共に当クラブより5名が参加。PR展示版・募金箱・のぼり旗・風船の準備をし、NARA CITY コンシェルジュ(ミス奈良が本年より呼称変更)3名も加わり、定刻の9:45に路行く人々に協力の呼びかけを開始。サクラの見ごろ最後の週末、多数の観光客が電車から降りてくるも、昨年同様8割方が東南アジア主体の外国人のため、募金効率は悪い。今年から500円以上の募金者には、せんとくんバッジが準備され、これを欲しさに500円玉を入れてくれる人がたまにあった。せんとくも3回の応援出場、相変わらずの愛嬌で人気をあつめていた。途中ガールスカウトも加わり、かわいい声で呼びかけ賑やかに。予定の正午に終了。県農林部の杉山部長の締めの挨拶があり解散。



準備中



呼び掛け



人気のせんとくん



参加者一同

4月13日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

この日は、県緑推の緑の募金活動と重なったため、2手に分かれての活動となり、矢田山への参加は16名。昨年より続けている「緑の募金」助成事業、モミジ谷の整備実績報告の期限である6月に備え、活動の纏めの時期に入り、今までの作業の点検・見直しを行った。残っている枯損木の処理、谷川に絡まっている朽木を撤去し、以前行ったモミジの植栽事業の成果か芽生えが多数見られ、その周辺の藪の整理を行い、若枝を支える杭づくりも行った。

午後、一組は矢田山頂上展望台へ向かい、20周年記念植栽地「永遠の森」での下草刈りを行い、もう一組は前回植菌したシイタケ原木に日除けのネット掛けと、周囲の藪の整理を実施。又サクラの木にシイタケ生えるか植菌を試みた。女性会員は、次回定例活動日での「食事会・花見?」に備え、器具類の点検をし、定刻に本日の活動を楽しく終わった。

「永遠の森」では、サクラは終わったものの、ツツジが咲きかけていた。



＝モミジ谷整備作業風景＝



日除けネット

4月17日(水) 潤いの森 枝(紐)打ち 日笠町

平成23年に瀬戸内オリーブ基金で、同町城森氏茶畑跡地に植樹したヒノキ林、平成27年まで下草刈りをし、その後順調に育ち、枝が大きく張ってきたので、枝打ちを7名で実施。最初作業の目的・効果・要領等を説明し、稜線に対し、2メートル間隔で縦に並んでの作業。第一回目の枝打ち(幹の太さが缶ビール程のものだけを対象)を手の届く高さまで切り落とした。一部曲がったものや傾いたものは除伐。作業終了後は、見違えるほどスッキリとした。枝打ちが必要な人工林は、過去10～20年前に植樹されたものが対象となるが、これは非常に少ないだけに、貴重な作業体験となった。

この後、上記より数年後に、雑木山跡に植えたものの生育状況を見に行ったが、日当たりが悪いせいか、幹はまだ細く枝打ちは数年後となる。最後に、道路脇にある笹竹を切り取り、クラフトの竹笛用に持ち帰った。



==枝打ち作業風景==

仕上がり

4月27日(土) 定例活動 臨時総会 矢田山遊びの森

22名の参加。内一名東大阪在住のイギリス人(男性)の初参加あり。日頃良く犬と当公園で散歩を楽しんでいる由。

午前中、男性は三手に分かれての活動。一組は、みんなの森植栽地での今後の活動の為の下見。途中枯れ木等の処理をしながら進んでいき、一番奥で平成22/23年に植樹祭を実施した”天平の森”、暫く入っていなかったのが大きく繁茂した雑草の処理。一組はR308 榎野工務店近くの竹の除伐整理。折から立派なタケノコを収穫。残り一組は、過日実施した平成天皇在位30年を記念しての植栽地の点検と標柱立て。

昼は、女性達の手で準備されたカレーでお楽しみ昼食会。

午後、臨時総会を開催。議案は登録住所変更の件。当クラブの住所は、県緑化推進協会内となっています。5月29日同協会が橿原市への移転に伴うのに合わせ、法務局へ住所変更を通知する必要あり、これは定款の変更に関わるので、総会決議を要するもの。参加者22名、定足数を満たしていること確認の上、議案説明後、一部質疑を経て全員の拍手でもって承認。

新住所：〒634-0033

橿原市城殿町459

TEL 0744-26-0200

FAX 0744-26-0201

総会終了後、シイタケ銀行周辺の整備をする一方、この間定例理事会を開催。

- ・近畿森林管理局との春日奥山”ふれあいの森”協定の終結報告
- ・本年度の助成事業、モミジ谷整備(緑の募金公募事業)、みんなの森雑木林整備(林野庁)とFVリーダー研修(緑と水のファンD)の各申請書提出報告
- ・県ポスト「全国豊かな海づくり大会」に例年同様クラブ指導で参加申込(7月15日、場所は、県森林技術センター高取町)
- ・次回定例でコンニャク作りを、また奈良ボランティアセンターの視察予定あり



天平の森整備風景

カレーを味わう

総会風景

4月29日(月) 緑化作品コンクール入賞者表彰式 馬見丘陵公園

先に行われた作品コンクールの入賞者の表彰授与に合わせ、花の苗木(ミニバラの小鉢)配布があり、この手伝いに13名が参加。持ち帰り用小袋にラベルを貼り、鉢を袋に入れて配布開始を待つ。大型連休の最中での開催にて、受賞者の出席が半分ほど。今回は、初めて行われた学校環境緑化委コンクール入賞校である、奈良文化高等学校にも賞状が授与された。(なお同校は全国でも入賞)いつものようにせんたくんもお祝いに駆けつけ、揃っての記念写真で式典を終え、苗木の配布を開始。既に開始待ちで早めに並んでいた多くの人に、花の種と合わせ手渡し、この間緑の募金への協力を呼び掛けた。正午で終了し解散。



配布準備



授与式



受賞者



苗木の配布

5月11日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

先月加入の女性会員が友達を伴ってと、大阪市内から男性の各1名の新加入を入れ参加者は17名。この日奈良市ボランティアセンターから2名の見学あり、理事長より活動内容説明後、ppを使ってのクラブ紹介の上、活動現場の様子をつぶさに見てもらった。

午前中、大半「緑の募金」助成事業であるモミジ谷の森林整理を2班に分かれ実施。一班は、新人を中心に手ノコを使っての間伐作業の手ほどき。一方はチェンソーとチルホールを使っての伐倒。

午後は、むし祭りでのクラフト指導の為の材料づくり。むし祭りに因み、セミ・カブトムシ・クワガタ等の昆虫の類を作るため、胴体となる木や竹の小口切りをした。

女性数名は、朝からクラブ員提供のコンニャク芋を使ってのコンニャクづくりを料理体験館で実施。皆は玉一つづつ貰って持ち帰った。



==新人指導==



クラフト材料づくり



コンニャクづくり

5月25日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

参加者18名、午前中は植栽地「野鳥の森」の整備作業。植栽木の周りの坪刈りやツル切りを、その後を下刈器を持ったものが草を刈って行った。中ほどに、大きく育ったサクラが昨年の強風のせい、横倒しになっているのが一本。幸いのにも青い葉が繁っているのを見て、まだ心根が土中にしっかり根付いていたので、周りの土を被せ、乾燥を防ぐため刈った草で覆いをして養生。後日機械を使って引き起こす予定。午後、料理体験館近くで、大きなナラ枯れ(径50センチ超)があり、危険なので伐倒。木は体験館に向けて傾いているため、チルホールと補助ロープを使い皆で安全な伐倒につき話し合いながら作業を進めた。まず左右に張りだした大きな枝を樹上で切除。木の傾きとほぼ反対方向に倒す為、途中受け口の修正もし、チェンソーが咬まれないよう慎重に追い口の切込みを入れた後、チルホールで引き倒す。かなり抵抗があり、引手二人は途中急遽応援の要請。結果はほぼ予定通りの方向に無事伐倒に成功。

また、6月2日開催の「むし祭り」でのクラフト指導のための材料・用具の準備を行った。



草刈り作業



枝落とし



受け口づくり

6月2日(日) むし祭り クラフト指導 橿原市昆虫館

恒例の同館主催のイベントに協賛の県中部農林振興事務所の要請により、クラフト指導で当クラブより7名が参加。クラフトの内容はむし祭りに因みジジーセミ・カブトムシ・クワガタ・ガリガリトンボづくりを行った。材料を種目別に3台の作業テーブルに分けて準備、新人研修を兼ねてクラフトの手順を確認。

開場の9時半を待って、親子連れが受付で、森林クイズの回答用紙をもらい、展示パネルを参考に回答、採点后これを参加証代わりに持って、希望する作品別のテーブルへ。見本を参考にクラブ員の指導を受けながら昆虫作りを楽しんだ。いつものことながら、昼前にはかなりの参加者がたてこみ、順番待ちをすることもあった。受付終了の3時半まで参加者がひっきりなしの盛況。片付けを終え4時過ぎに散会。約300人の参加を見た。



手順確認

森林クイズ

作成風景

指導者一同

6月8日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

昼前後に雨の予報ながら、14名が参集。朝会で、国有林・民有林の管理経営法改正が行われたことに関する問題点の説明と、クラブ員の成立阻止を訴えた新聞投稿が合せ紹介された。

午前中、枯損木の除伐とホダ木の本伏せ作業の二手に分かれての活動。ナラ枯れ枯損木、前回処理したものの隣で、やや細目(胸高直径約35センチ)ながら、高くかつ料理体験館に向かって大きく傾いており、これを山手側に安全に倒す為、まず一本梯子使い高所の力枝を切り落とし、万一の場合を考え、補助ロープを結わえ、チルホールを使用、ほぼ狙い通りの方向に無事伐倒。ただ補助ロープ余裕がなかったのか倒れる際にぶち切られた。玉切り処理に際し、女子一名がチェンソー初体験。ホダ木は、シイタケ銀行の近くで植菌後、仮伏せしておいたもの、銀行内で本伏せするため、先に間伐材を利用し、作り変えておいた木枠に立て掛ける為、一列になって手送りで搬送した。

午後、これからクラフト指導の機会が増える為、材料となる木の実(スギ、ヤシャブシ)拾い集めをする一方、チェンソー・刈払い機の手入れを実施。終了近くに、今回林野庁助成事業の県の窓口担当になられた杉本氏の来訪を受け、事業内容等に関する情報交換し、作業地の見分を行ってもらった。



枝落とし

チェンソー体験

ホダ木の手送り

木の実拾い

6月22日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

参加16名。午前中、全員で「野鳥の森」整備に入る。約半分は、手鎌・下刈器での下草刈り作業。残り半分は、先月養生しておいたサクラの倒木の引き起こし作業。約8mにまで育った大きなもので、チルホールを使い根を傷めないようにロープがけをし保護しながらゆっくりと起こしていった。ほぼ直立させた後は、ヒノキの4mほどの間伐材3本の支柱で支えて、根元にはたっぷり土を被せておいた。

午後は、今後のイベント・環境出前講座でのクラフト指導に備えての材料用具の整備を行った。



＝サクラの倒木引き起こし作業風景＝

クラフトの準備